

**留学先国名** : イギリス

**留学先学校名** : University of Birmingham

**留学期間** : 平成 28 年 5 月 31 日 ~ 平成 28 年 12 月 9 日

#### [留学中の生活と成果]

私の留学では「積極性」という言葉が大きなキーワードだったように思います。7ヶ月あった留学期間のうち、最初の4ヶ月は大学の附属英語コースでの生活でした。これまでも海外旅行で様々な国を訪れていた私にとって、現地の生活習慣に慣れることはさほど困難ではありませんでした。今はグローバル化の影響で、イギリスでも食べ物や街のシステムにさほど大きな違いはなく、日本にいた頃と変わらない生活を送ることができました。やはり、留学中に最も苦労したことと言えば「言語の壁とコミュニケーションの問題」です。私が所属していた英語コースでは受講生の9割近くが中国人で占められており、当然、振り分けられたクラスでも自分以外は全員中国人というなかで勉強していました。そのため、授業以外の時に周りの友達が中国語で会話することもよくあり、何を話しているのか全く分からない、英語で会話をしてもスムーズに続かない、その結果、最初のうちは自分から積極的に話しかけにいかないと一人になってしまうことがよくありました。

それは留学期間の後半、学部に入ってから同じで、国籍の違う国では日本の大学以上に自ら行動を起こさなければ友達もできず、何もすることなく時間が過ぎていきます。バーミンガム大学では世界中から集まる多くの留学生のために毎日のごとく、ウェルカムフェスティバルや食事会等のイベントが開催されていました。それらのイベントに参加する時もまだまだ英語が上達していない私にとってはグループに参加するのにも一苦労で、うまく会話を続けられないときは明るく振る舞うので精一杯でした。しかし、これまではそのような状況を避け、傷つくことを恐れてきた自分ですが、プライドを捨て楽しむ気持ちでいろんなことに挑戦しました。そして、そのような行動が結果的に自分自身の大きな成長に繋がったと心の底から思います。

このように毎日が試行錯誤の日々であった怒涛の7ヶ月間は、未知なる体験への好奇心、それを実現する行動力、そこから得る広い視野を自分に与えてくれました。それに何より、大学受験までは自分の意思ではなく、ただ周りがそうしているからという理由で進んできた私にとって、自分の意思で留学を決め、紆余曲折ありながらもそれをやりきったことの「達成感と自信」は今後の大きな原動力となるはずです。

#### [今後の方針]

留学前から抱いていた「航空会社の総合職事務職員になる」という気持ちは留学に行ってから更に強くなりました。今回、留学を行うにあたり、航空会社での業務のために「語学力」と「仕事への対応力」を磨くことを一つの目標としていました。語学力については言うまでもありませんが、航空会社の総合職事務職員はジョブローテーションによって現場作業からデスクワーク、営業まで多岐にわたる仕事をこなす必要があり、仕事への柔軟性が求められます。正直に言うと、今回の留学を通して上記の目標のどちらも十分に達成できたとは言えません。しかし、自分にとって困難な仕事であったり、それに失敗することがあったとしても、

最後まで諦めずにやり抜く力はこの何ヶ月間で大いに備わりました。

また、観光局で働くわけではありませんが、少なからず海外のお客様と繋がりのある仕事であるため、他国の文化や海外の人が興味を持っていることを理解できたのは非常に有意義だったと感じています。

[これから留学する人へのアドバイス]

まずは技術的なアドバイスとして、「発音とイントネーション」は言語を話す上でかなり重要なポイントです。私も日本人訛りの英語のせいで簡単な単語を何度も聞き返されることがありました。これまでは英語話者のマネだけでなんとかあった発音も実際の生活の中では役に立たず、留学中に舌の動きとアクセントの位置を意識して矯正することになりました。これらは一朝一夕で簡単に矯正できるものではないので、留学に行く前に正確な発音を習慣化することをオススメします。特にLとR、THの発音の仕方を見直すだけでも効果は大きいと思います。また、発音もそうですが、現地に行ってから本格的に語学の勉強を始めるのは手遅れです。残念ながら私は現地の語学学校に入れば学部で授業についていけるだけの十分な英語力が身につくと高を括っていました。しかし、現実には周りの留学生と語学力の面で大きな差があり、専門科目の勉強に集中することが出来ませんでした。頭の中では分かっていると思いますが、大学の授業を受ける人は英語が出来て当たり前で、英語ではなく専門科目を学ぶわけです。このようなことを踏まえた上で、これから留学する人は常に自分が設定した目標を忘れずに、挑戦する気持ちで頑張ってください。